



SoundPoint® IP 32x/33x

クイック ユーザ ガイド

基本的な電話機能
電話機能のカスタマイズ

SIP 3.1.3 以降が動作する電話機に対応

詳細については、『SoundPoint IP 32x/33x ユーザガイド』をご覧ください。このガイドは以下の URL から入手できます。
www.polycom.com/support/voicedocumentation

© 2009 Polycom, Inc. All rights reserved.
Polycom, Polycom ロゴ、および SoundPoint は、米国その他の国における Polycom, Inc. の登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの会社が所有しています。この文書中の情報は、予告なしに変更することがあります。

SoundPoint IP 32x/33x クイック ユーザ ガイド。1725-11240-002 Rev. B. 06/2009

基本的な電話機能

通話の発信

ハンドセットを使用している場合
ハンドセットを取って番号を入力するか、番号を入力してからハンドセットを取ります。ハンズフリーのスピーカホンを使用している場合

1. ハンドセットを置いたままで、**[Mute]** または
2. 回線が割り当てられているラインキーを押します。
3. 番号をダイヤルします。

または、番号をダイヤルしてから **[Dial]** を押します。

オプションのヘッドセットを使用している場合

1. ヘッドセットを接続して、次のいずれかを押します。
 - 回線が割り当てられているラインキー
 - **[新規通話]** ソフトキー

2. **[Mute]** を押します。
 3. 番号をダイヤルします。
- または、番号をダイヤルしてから **[Dial]** を押します。

呼び出し中に、**[Mute]** または **[Hold]** キーを押すか、またはハンドセットを取って、ハンドセット、ヘッドセット、ハンズフリーのモードを切り替えることができます。

通話の応答

ハンドセットを使用している場合
ハンドセットを取ります。
スピーカホンを使用している場合
次のいずれかを押します。

- **[Mute]**、または
 - ラインキー、または
 - **[応答]** ソフトキー
- オプションのヘッドセットを使用している場合**

[Mute] を押します。

呼出音が鳴っているときに **[拒否]** ソフトキーを押すと、着信通話は無視されます。

通話の終了

ハンドセットを使用している場合
ハンドセットを置か、**[終了]** ソフトキーを押します。

スピーカホンを使用している場合

[Mute] または **[終了]** ソフトキーを押します。

オプションのヘッドセットを使用している場合

[Mute] または **[終了]** ソフトキーを押します。

マイクのミュート

通話中に **[Mute]** を押します。ミュートは、ハンドセット、ヘッドセット、およびハンズフリーのすべてのモードに適用されます。ミュートがオンになっている間でも、他のすべての参加者の通話を聞くことができます。

ミュートをオフにするには、**[Mute]** をもう一度押します。

通話の保留と再開

1. 通話中に **[Hold]** を押します。
2. 通話を再開するには、**[Hold]** をもう一度押すか、**[再開]** ソフトキーまたはラインキーを押します。

一定時間を超えて通話が保留されていると、視覚および音声で警告されます。

ローカル会議*

3者ローカル会議を開催するには

1. 最初の参加者に通話を発信します。
2. または **[会議]** ソフトキーを押して、新しい通話を作成します (現在の通話は保留状態になります)。
3. 2番目の参加者に通話を発信します。
4. 2番目の参加者が応答したら、**[会議]** ソフトキーをもう一度押すと、すべての参加者が会議に参加します。

会議を開始した後、**[回線の切り離し]** ソフトキーを押すと、会議が2つの通話に分離され、通話は保留状態になります。

会議を開始した電話機で通話を保留にすると、他の参加者はその会議で保留状態になります。

回線が同じかどうかにかかわらず、**[会議に参加]** ソフトキーを押すと、アクティブな通話と保留状態の通話の間いつでも会議を開催できます。

会議を開始した電話機で通話を終了しても、他の参加者は会議を継続できます。

* 会議機能はオプションの機能で、コールサーバで設定する必要があります。機能やメニューオプションが異なる場合があります。

通話の転送

1. 通話中に **[転送]** ソフトキーを押します (現在の通話は保留状態になります)。

転送先の参加者と会話しないで、通話を転送するには、**[ブラインド]** ソフトキーを押します。

2. 転送先に通話を発信します。
3. 転送先の参加者と会話した後に、**[転送]** ソフトキーを押すと転送が完了します。

転送先に発信してから転送をキャンセルするには、**[取消]** ソフトキーを押します。保留中の通話が再開されます。

通話の転送

通話の着信転送をオンにするには、次の手順に従います。

1. **[Menu]** を押して、**[機能]**、**[転送]** の順に選択します。
2. **[転送の種類を選択]** で、**[常時]**、**[無応答時]**、および **[取り込み中]** のいずれかを選択します。
3. どの種類の転送でも、以降のすべての通話を転送する転送先の番号を入力します。
4. **[無応答]** を選択した場合は、転送する前の呼出音の回数を入力します。
5. **[有効]** ソフトキーを押して、通話の着信転送を確定します。通話の着信転送がオンになっていることを示す矢印アイコンが、その回線に表示されます。

通話の着信転送をオフにするには、次の手順に従います。

1. **[Menu]** を押して、**[機能]**、**[転送]** の順に選択します。
2. **[転送の種類を選択]** で、**[常時]**、**[無応答時]**、および **[取り込み中]** のいずれかを選択します。
3. **[無効]** ソフトキーを押します。

通話の着信転送機能は共有回線では使用できません。

コールサーバ(*コードを使用してダイヤルする実行するものやPCベースアプリケーション)側で、通話の着信転送機能が設定されている場合、詳細な手順やメニューオプションは異なる場合があります。

リダイヤル

[Dial] を押して、発信履歴のリストを表示します。④ と ⑤ を押すか ⑥ と ⑦ を押しながらスクロールして目的の番号を検索し、もう一度 **[Dial]** キーを押します。

応答拒否

通話の応答を拒否するには、**[Menu]** を押して **[機能]** を選択し、**[応答拒否]** を選択します。すべてのラインに **[応答拒否]** アイコンが表示され、応答拒否が有効であることを示します。

応答拒否をオフにするには、**[Menu]** を押して **[機能]** を選択し、もう一度 **[応答拒否]** を選択します。

コールサーバ側で、応答拒否機能が設定されている場合、詳細な手順が異なる場合があります。

通話履歴

[Menu] を押して、**[機能]**、**[通話履歴]** の順に選択します。受信履歴と発信履歴のリストを表示できます。個々の通話の情報が表示されます。

この画面で該当するソフトキーを選択します。

1. **[情報]**: 詳細な通話情報を表示する。
2. **[保存]**: 連絡先リストに連絡先を保存する。
3. **[削除]**: リストから通話を削除する。待機画面に戻るには ④ を繰り返して押します。または、**[受信履歴]** ソフトキーを押して受信履歴リストを表示します。

ボイスメール*

メッセージセンターに保存されたメッセージがある場合は、電話機前面の Message Waiting インジケータや、個々のラインのインジケータが点滅し、通常のダイヤルトーンではなく連続したダイヤルトーンが聞こえます。

ボイスメッセージを聞くには、次の手順に従います。

1. **[メッセージ]** ソフトキーを押します。
2. 音声案内に従って、メッセージを聞きます。

* - ボイスメール機能はオプションで、コールサーバで設定する必要があります。機能やメニューオプションが異なる場合があります。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルインデックスを割り当てる場合は、以下の「**連絡先リスト**」を参照してください。

ラインキーに割り当てられている連絡先に発信するには、対応するラインキーを押します。

短縮ダイヤルのインデックスに関連付けられた連絡先に発信するには

1. ダイヤルパッドを使用して、# を入力してから短縮ダイヤルのインデックスを入力します。
2. **[Dial]** を押すかハンドセットを取ります。

電話機能のカスタマイズ

連絡先リスト

連絡先を電話機本体の連絡先リストに追加するには

1. **[連絡先]** ソフトキーを押してから ④ を押します。
2. ⑤ を押し、電話機のデータベースに連絡先を入力します。
3. ダイヤルパッドから姓名を入力します。
4. **[OK]** または **[キャンセル]** ソフトキーを押して変更内容を受け入れるかキャンセルします。
5. ⑥ を押しして連絡先のエントリの次のフィールドを表示します。
6. 手順 2~5 を繰り返して、姓名および連絡先リストにない新しい連絡先電話番号を入力します。
7. 使用可能な短縮ダイヤルインデックス値が自動的に割り当てられます。必要に応じて変更することもできます。
8. 必要に応じて、残りのフィールド ([呼出音のタイプ]、[転送先]、[自動拒否]、および [自動着信転送]) を変更します。
9. ④ を押しして、データ入力を終了します。
10. **[はい]** または **[キャンセル]** ソフトキーを押して変更内容を受け入れるかキャンセルします。
11. 待機画面に戻るには ④ を繰り返して押します。

連絡先は通話履歴から簡単に追加できます。詳細については、前の「**通話履歴**」セクションを参照してください。

連絡先を検索するには、次の操作を行います。

1. **[連絡先]** ソフトキーを押します。

2. ダイヤルキーパッドから、姓名の最初の数文字を入力します。たとえば、姓名が J で始まる最初のディレクトリエントリを検索するには、5 キーを 1 回押します。検索では大文字と小文字は区別されません。検索結果画面に一致するダイヤルが表示されます。

連絡先を編集するには

1. **[連絡先]** ソフトキーを押します。
2. 連絡先を検索します (前の「**連絡先リスト**」を参照)。
3. **[編集]** ソフトキーを押して、必要な変更を行います。
4. ④ を押しして、データ入力を終了します。
5. **[はい]** または **[キャンセル]** ソフトキーを押して変更内容を受け入れるかキャンセルします。
6. 待機画面に戻るには ④ を繰り返して押します。

音量の調整

通話中に、ハンドセット、ヘッドセット、およびハンズフリーのスピーカの音量を調整するには、**[音量]** キーを押します。待機画面でこれらのキーを押すと、呼出音の音量を調整できます。

規定の要件に準拠するため、各通話の後にハンドセットとヘッドセットの音量はプリセットレベルに戻りますが、システム管理者はこの設定を変更できます。ハンズフリーの音量設定は、通話終了後も保持されます。

呼出音のタイプ

好みの呼出音を選択して、回線毎の通話を識別できます。

着信を知らせる呼出音を変更するには

1. **[Menu]** を押します。
2. **[設定]**、**[基本設定]**、**[呼出音のタイプ]** の順に選択します。
3. ④ および ⑤ を使用して、設定する呼出音のタイプをハイライトします。選択した呼出音を聞くには **[再生]** ソフトキーを押します。
4. 選択した呼出音を変更するには **[選択]** ソフトキーを押します。
5. 待機画面に戻るには **[Menu]** または ④ を繰り返して押します。

呼出音が鳴らないように選択している場合は、ラインキーまたは **[応答]** ソフトキーを押して着信に応答してください。

呼出音や通話を識別するための処理

連絡先リストにあるさまざまな連絡先を識別できるように着信の呼出トーンを設定できます。

連絡先を識別できるように呼出音を設定するには

1. **[連絡先]** ソフトキーを押します。
2. 連絡先を検索します (前の「**連絡先リスト**」を参照)。
3. **[編集]** ソフトキーを押して、[呼出音のタイプ] まで下にスクロールします。
4. 使用可能な呼出音に対応する番号を入力します (前の「**呼出音のタイプ**」を参照)。
5. ④ を押しして、データ入力を終了します。
6. **[はい]** または **[キャンセル]** ソフトキーを押して変更内容を受け入れるかキャンセルします。
7. 待機画面に戻るには ④ を繰り返して押します。

自動ヘッドセットモード

常にヘッドセットを使用するユーザは、デフォルトですべての通話をヘッドセットで行うように設定できます。

自動ヘッドセットモードを有効にするには、次の操作を行います。

1. **[Menu]** を押し、**[設定]**、**[基本設定]**、**[環境設定]**、**[ヘッドセットの設定]** の順に選択します。
2. ④ および ⑤ を使用し、⑥ を押ししてソフトキーを押して自動ヘッドセットモードを有効にします。

自動ヘッドセットモードをアクティブにするには

⑦ を 2 回押します。ヘッドセットアイコンが点滅します。

自動ヘッドセットモードを無効にするには手順 1 と 2 を繰り返して、**[無効]** を選択します。

